

愛知県感染症情報

AICHI Infectious Diseases Weekly Report

2011年49週 (12月1週12/5~12/11)

2011年11月報

愛知県感染症情報センター(愛知県衛生研究所内)

<http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/kansen.html>

E-mail: eiseiken@pref.aichi.lg.jp

連絡先: 052-910-5619(企画情報部)

今週の内容

トピックス

インフルエンザ、集団かぜの発生について、マイコプラズマ肺炎、RSウイルス感染症、結核病原体検出情報
 定点医療機関コメント
 インフルエンザ、マイコプラズマ、感染性胃腸炎、溶連菌感染症、RSウイルス感染症 等

全数把握感染症発生状況 ()内は件数。

結核(16)、腸管出血性大腸菌感染症(1)、つつが虫病(1)、レジオネラ症(3)、急性脳炎(1)

2011年11月報

定点把握感染症報告数(保健所別、年齢別)

「グラフ総覧」は <http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/graph.pdf>

トピックス

インフルエンザ(図1)【12月7日注意報発令】

49週の愛知県の定点当たり報告数は5.33、48週455人、49週1,040人です。2011/2012シーズンに、集団かぜ及び病原体定点から寄せられた検体からA香港型(AH3)ウイルスが検出されました。

【参考ページ】

インフルエンザ注意報を発令します!(ネットあいち)

<http://www.pref.aichi.jp/0000047109.html>

2011/12シーズンインフルエンザウイルス分離・検出状況

http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/67f/infbunri11_12.html

保健所別・定点医療機関当たりのインフルエンザ報告数マップ

http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/infllu_map_new.html

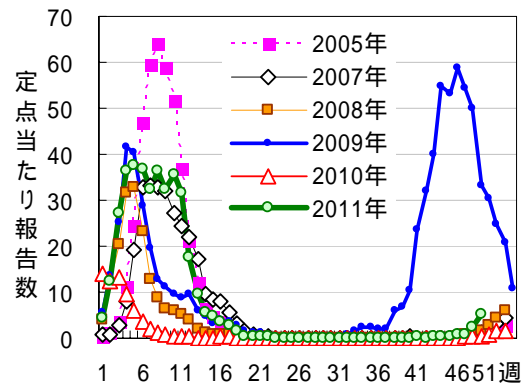


図1 インフルエンザ

集団かぜの発生について(健康対策課新型インフルエンザ対策室発表)

	発表日	管轄保健所	ネットあいち URL
第14報	12月9日	瀬戸	http://www.pref.aichi.jp/0000047264.html
第15報	12月12日	一宮、瀬戸、半田、江南、知多	http://www.pref.aichi.jp/0000047299.html
第16報	12月13日	瀬戸	http://www.pref.aichi.jp/0000047335.html
第17報	12月14日	瀬戸	http://www.pref.aichi.jp/0000047371.html

マイコプラズマ肺炎

49週の定点(基幹14定点)当たり報告数は2.93、48週36人、49週41人です。

【参考ページ】マイコプラズマ肺炎 <http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/mycoplasma.html>

RSウイルス感染症

49週の定点当たり報告数は1.59、48週216人、49週289人です。

【参考ページ】RSウイルス感染症

<http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/67f/rs.html>

結核(図2)

2011年1~11月の報告数は1,899例(うち無症状病原体保有者512例)でした。2010年1~11月報告数は1,844例(同314例)、2010年総計は2,037例(同351例)でした。

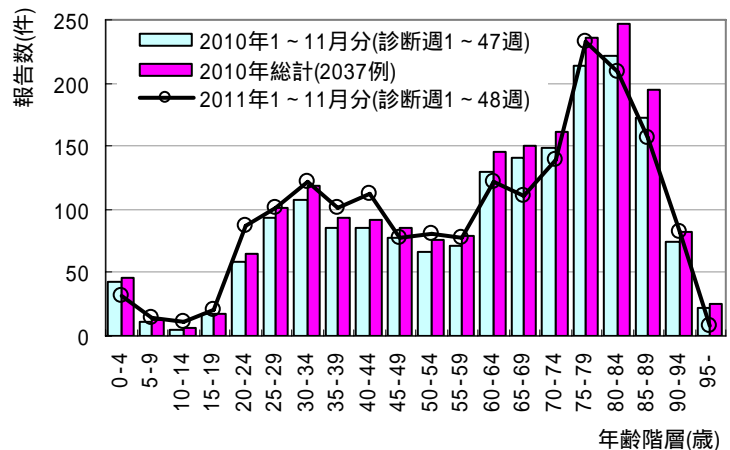


図2 結核の年齢階層別報告数(愛知県、無症状病原体保有者含む)

病原体検出情報 - 平成 23 年疾患別ウイルス検出速報 -

12 月 15 日現在

	感受性胃腸炎	手足口病	ヘルペシナ	咽頭腫熱	流行性角膜炎	無菌性髄膜炎	脳炎・脳症	*インフルエンザ	**麻疹
患者数	211	140	40	14	39	57	20	358(18)	11(46)
PV-1	1								
CV-A4			2				1		
CV-A6		32	9						
CV-A10		2							
CV-A16		25							
EV-71		3							
CV-B1		1	1			10	1		
CV-B2	1		3			2	1		
CV-B3			1				1		
CV-B4		1							
CV-B5		3				15			
E-6						1			
E-7			1						
E-11	3					2	1	1	
HPeV-3			2						
FluAH1pdm09								139	
FluAH3								100(5)	
FluB								75	
MeV									1(3)
MuV						1			
RUBV									(1)
Rota A G1	28								
Rota A G2	1								
Rota A G3	33								
NV-G	2								
NV-G	49								
SV	7								
AstV	9								
Ad-1			1						
Ad-2	6			2					
Ad-3	4		1	10	5				
Ad-5	1								
Ad-41	3								
Ad-54					2				
B19V									(12)
検査中	30	8	2		6	1	2	(13)	1(5)
陰性	59	65	17	2	26	25	13	43	9(25)

*インフルエンザは 2010/2011 シーズンの検査結果、()内は 2011/2012 シーズンの検査結果。

**麻疹の()内は病原体定点医療機関以外からの患者数(別掲)。

略：ウイルス名(他の略名) Ad：アデノウイルス、AstV：アストロウイルス、B19V：ヒトパルボウイルス B19、CV：コクサッキーウイルス(Cox.) E：エコーウイルス、EV-71：エンテロウイルス 71 型、FluAH1pdm09：インフルエンザ(H1N1)2009 ウイルス、FluAH3：A 香港型インフルエンザウイルス、FluB：B 型インフルエンザウイルス、HPeV：ヒトパレコウイルス、MeV：麻疹ウイルス、MuV：ムンプスウイルス、NV：ノロウイルス、PV：ポリオウイルス、Rota A：A 群ロタウイルス、RUBV：風疹ウイルス、SV：サボウイルス

関連ページ 1)「疾患別ウイルス検出情報」<http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/67f/prompt.html>

2)「2010/11 シーズンインフルエンザウイルス分離・検出状況」

http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/67f/infbunri10_11.html

定点医療機関コメント（名古屋市除く）

尾張西部地区

インフルエンザ27名 A型25名 症状から判断2名

感染性腸炎が少し増えてきました。

【一宮市 あさのこどもクリニック】

RSウイルス感染 8か月、11か月男

26歳女 無菌性髄膜炎。

【一宮市 後藤小児科医院】

マイコプラズマ感染症 3人

【一宮市 ささい小児科】

インフルエンザ A型28件、B型2件

【一宮市 一宮市立市民病院】

流行性角結膜炎の2人は家庭内感染と思われる。

【一宮市 ふなはし眼科】

インフルエンザA型5名

【稲沢市 こどものお医者さんおがわクリニック】

A型インフルエンザ 4名

B型インフルエンザ 3名

A型溶連菌 2名

RS 4名

水痘 4名

咽頭結膜熱 2名

手足口病 3名

伝染性紅斑 2名

いろいろな疾病が同時に流行しています。

【犬山市 武内医院】

インフルエンザ 22名(すべてA型)

溶連菌感染症もやや目立ちます。

【江南市 医療法人みやぐちこどもクリニック】

水痘多発

RS続発中

インフルエンザA型 4例

【岩倉市 医療法人なかよしこどもクリニック】

A型インフルエンザ 2名

【北名古屋市 田中クリニック】

B型インフルエンザ 1名

嘔吐下痢を伴った胃腸かぜが多い様です。

[口タ(-)]

マイコプラズマ感染症が多い様です。

【清須市 丹羽医院】

インフルエンザA型 3名

【津島市 田中こどもクリニック】

インフルエンザA型 5名

【津島市 医療法人参育会加藤医院】

尾張東部地区

溶連菌感染症増加しました。

その他手足口病、突発疹等。

インフルエンザはまだみられません。

【尾張旭市 医療法人誠和会佐伯小児科医院】

インフルエンザA型25名軽症のみです。

【豊明市 こども元気クリニック】

RSウイルス感染症が依然多いです。

インフルエンザA型が出ました。

【春日井市 春日井市民病院】

マイコプラズマ肺炎 続発中

RSV感染症、感染性腸炎 続発中

【春日井市 朝宮こどもクリニック】

インフルエンザはすべてA型

RS流行つづいています。

【小牧市 小牧市民病院】

感染性胃腸炎、溶連菌感染症が目立ちます。

【小牧市 志水こどもクリニック】

インフルエンザA 8名

【半田市 医療法人林医院】

A型インフルエンザ 2名

【南知多町 医療法人大岩医院】

インフルエンザA 50名

【半田市 ひいらぎこどもクリニック】

ウイルス性の胃腸炎が増えてきているようです。

3歳男 病原大腸菌O25(+)ペロトキシン(-)

6歳男 病原大腸菌O1(+)ペロトキシン(-)

5歳女 病原大腸菌O103(+)ペロトキシン(-)

【大府市 まえはらこどもクリニック】

インフルエンザはみなA型です。

RSウイルス感染症3名(1歳、2歳、4歳)

病原大腸菌(O1)陽性3名

手足口病ひきつづき目立ちます。

【東海市 もしもしこどもクリニック】

インフルエンザはA型のみです。

【東海市 こいで内科医院】

西三河地区

マイコプラズマ肺炎 7歳男
インフルエンザA(+) 7名
インフルエンザ不明(臨床診断) 4歳男
イムノエースRSV(+) 2か月男
E.coli(O25) 2歳男
【豊田市 星ヶ丘たなかこどもクリニック】
インフルエンザ1人ありました。
【豊田市 わかぞの東洋クリニック】
マイコプラズマ 16名
【豊田市 すくすくこどもクリニック】
カンピロバクター 7歳女
インフルエンザはA型
水痘が増加しています。
【岡崎市 花田こどもクリニック】
マイコプラズマ肺炎 3歳女 5歳女 6歳女
8歳女 9歳女 11歳女 13歳女
インフルエンザはA型
【岡崎市 医療法人川島小児科水野医院】
RS 5か月男 1か月女
カンピロバクター 5歳女
マイコプラズマ 3歳女 11歳女 14歳男
インフルエンザA型 1歳女 4歳女 35歳女
【岡崎市 にいのみ小児科】

すべてインフルA型でした。
【岡崎市 医療法人志貴こどもクリニック】
RSV感染症散見されます。
インフルエンザウイルス感染症 全てA型です。
【岡崎市 竜美ヶ丘小児科】
RSウイルス感染症流行中
【碧南市 永井小児クリニック】
マイコ気管支炎6名(4歳、5歳2名、8歳、9歳、
10歳)
インフルエンザはA型2名
【刈谷市 田和小児科医院】
インフルエンザA 19名
手足口病 3名
【知立市 宮谷クリニック】
インフルエンザ二人共A型でした。
【安城市 医療法人鳥居医院】
インフルエンザA型10名 B型0名
【西尾市 西尾市民病院】
13歳男 インフルエンザA型
2歳女 インフルエンザA型
【西尾市 こどもクリニック宮地医院】
マイコプラズマ感染症 10歳男
【幸田町 とみた小児科】

東三河地区

アデノウイルス扁桃炎の子がいました。
マイコプラズマ肺炎が流行しています。
【豊橋市 医療法人こどもの国大谷小児科】

病原性大腸菌O18 男2歳
当院はインフルエンザいません。
ノロウイルス胃腸炎も例年のような流行ありません。
RSウイルス感染症と溶連菌感染症は多い。
マイコプラズマ感染症もまだ多く、熱が5日以上続く児もいる。
【豊川市 ささき小児科】
マイコプラズマまだ多し
【蒲郡市 蒲郡市民病院】

全数把握感染症発生状況（愛知県全体・保健所受理週別）2011年12月14日現在

一～三類感染症

<関連リンク> 届出基準 <http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/todokedekijun110905.pdf>

結核（二類感染症）

報告保健所	2011年49週報告数			2011年累計(1～49週)		
	総数	喀痰塗抹検査 陽性者数再掲	無症状病原体 保有者再掲	総数	喀痰塗抹検査 陽性者数再掲	無症状病原体 保有者再掲
名古屋市(16保健所合計)	13	5	2	746	183	158
豊田市				89	22	30
豊橋市				76	19	24
岡崎市				86	19	31
一宮				129	35	36
瀬戸	1			146	36	36
半田				52	17	21
春日井				98	30	20
豊川	1			37	13	11
津島	1			82	16	23
西尾				44	13	14
江南				70	18	26
新城				11	4	
知多				129	30	65
師勝				38	14	7
衣浦東部				104	36	21
合計	16	5	2	1,937	505	523

腸管出血性大腸菌感染症（三類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	発病月日	初診月日	診定月日	備考
1	半田	5歳	男	12/4	12/5	12/8	O111、VT1(+)

四類・五類感染症（全数把握）（推定感染経路、推定感染地域は確定も含む）

つつが虫病（四類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	推定感染地域
1	瀬戸	29歳	男	国内

レジオネラ症（四類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	病型	推定感染地域
1	名古屋市	75歳	男	肺炎型	国内
2	名古屋市	83歳	女	ポンティアック型	国内
3	名古屋市	62歳	男	肺炎型	国内

急性脳炎（五類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	病型	推定感染地域
1	豊橋市	25歳	男	病原体不明	国内

11月の一～五類感染症(全数把握対象)発生状況 [() は無症状病原体保有者再掲]

2010～2011年に報告のあった 疾病名及び病型 ()内は全数把握対象疾病数		2011年11月			2011年 総計 <愛知県全体>	2010年 総計 <愛知県全体>
		愛知県 (名古屋市除く)	名古屋市	愛知県全体		
一類 (7)	発生報告なし	0	0	0	0	0
二類 (5)	結核	107 (20)	58 (14)	165 (34)	1,899 (512)	2,037 (351)
三類 (5)	コレラ	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	0 (0)
	細菌性赤痢	1 (0)	0 (0)	1 (0)	14 (0)	11 (0)
	腸管出血性大腸菌感染症	2 (0)	2 (1)	4 (1)	120 (33)	237 (56)
	腸チフス	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	0 (0)
	パラチフス	0 (0)	0 (0)	0 (0)	2 (0)	1 (0)
四類 (42)	E型肝炎	0	0	0	2	3
	A型肝炎	1	0	1	4	13
	オウム病	0	0	0	0	4
	チクングニア熱	0	0	0	2	-
	つつが虫病	3	0	3	3	2
	デング熱	0	0	0	9	21
	日本紅斑熱	0	0	0	3	0
	ブルセラ症	0	0	0	0	1
	ボツリヌス症	0	0	0	1	0
	マラリア	0	0	0	6	1
	レジオネラ症	1	1	2	35	43
五類 (14)	アメーバ赤痢	4	2	6	40	53
	ウイルス性肝炎	1	2	3	11	17
	内訳					
	B型	1	2	3	8	16
	C型	0	0	0	0	1
	その他	0	0	0	3	0
	急性脳炎	1	0	1	12	8
	クロイツフェルト・ヤコブ病	0	0	0	3	8
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	0	1	1	13	11
	後天性免疫不全症候群	2	2	4	104	138
	内訳					
	無症候性キャリア	1	1	2	58	73
	AIDS	1	0	1	43	56
	その他	0	1	1	3	9
	ジアルジア症	0	0	0	3	1
	髄膜炎菌性髄膜炎	0	0	0	0	1
	梅毒	1	1	2	42	53
	内訳					
	無症候	1	1	2	18	23
	早期顕症	0	0	0	20	27
	晚期顕症	0	0	0	4	3
	破傷風	2	0	2	7	3
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	0	0	0	0	2
	風しん	0	1	1	12	3
	麻しん	0	0	0	30	32
	総計	126	70	196	2,379	2,467

*026;1件、0157;3件

五類感染症(月報定点把握対象)発生状況

	疾病名	2011年11月			2011年 総計	2010年 総計
		愛知県 <名古屋を除く>	名古屋市	愛知県 全体	愛知県 全体	愛知県 全体
性感 染 症 定 点	性器クラミジア感染症	66	54	120	1,433	1,680
	性器ヘルペスウイルス感染症	33	19	52	581	609
	尖圭コンジローマ	15	11	26	315	355
	淋菌感染症	18	34	52	654	822
基 幹 定 点	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	93	12	105	1,296	1,239
	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	16	4	20	143	238
	薬剤耐性緑膿菌感染症	2	0	2	7	4
	薬剤耐性アシネトバクター感染症*	0	4	4	26	-

*2011年2月からの報告対象疾病

感染症の類型及び定義(感染症法)

類型	定義
一類感染症 (7疾病)	感染力、罹患した場合の重篤性等に基づく総合的な観点からみた危険性が極めて高い感染症。患者、疑似症患者及び無症状病原体保有者について入院等の措置を講ずることが必要。
二類感染症 (5疾病)	感染力、罹患した場合の重篤性等に基づく総合的な観点からみた危険性が高い感染症。患者及び一部の疑似症患者について入院等の措置を講ずることが必要。鳥インフルエンザ(H5N1)が平成20年5月12日の法改正により従前の四類感染症鳥インフルエンザから除かれ、二類感染症に追加された。
三類感染症 (5疾病)	感染力及び罹患した場合の重篤性等に基づく総合的な観点からみた危険性は高くないが、特定の職業への就業によって感染症の集団発生を起こしうる感染症。患者及び無症状病原体保有者について就業制限等の措置を講ずることが必要。
四類感染症 (42疾病)	動物、飲食物等の物件を介して人に感染し、国民の健康に影響を与えるおそれがある感染症(人から人への伝染はない。媒介動物の輸入規制、消毒、物件の廃棄等の物的措置が必要。)
五類感染症 (42疾病)	国が感染症の発生動向の調査を行い、その結果等に基づいて必要な情報を国民一般や医療関係者に情報提供・公開していくことによって、発生・まん延を防止すべき感染症。
新型インフルエンザ等感染症 (2疾病)	インフルエンザのうち当該感染症に対する免疫を獲得していないことから、生命及び健康に重大な影響を与えるおそれのあるもの。新型インフルエンザ(新たに人から人に伝染する能力を獲得したウイルスによるもの)及び再興型インフルエンザ(かつて世界規模で流行したウイルスによるもの)が平成20年5月12日に指定された。
指定感染症	既知の感染症(一～三類及び新型インフルエンザ等感染症を除く)のうち、一～三類感染症と同程度の危険性を有し、それらに準じた措置を実施しなければ、国民の生命及び健康に重大な影響を与えるおそれがあるもの。一年間に限定した指定。
新感染症	人から人に伝染すると認められる疾病であって、既に知られている感染性の疾病とその病状又は治療の結果が明らかに異なるもので、当該疾病にかかった場合の病状の程度が重篤であり、かつ、当該疾病のまん延により国民の生命及び健康に重大な影響を与えるおそれがあると認められるもの。

愛知県感染症情報

2011年49週(2011年12月5日～2011年12月11日)

愛知県衛生研究所

	定点数					インフルエンザ 定点 * インフルエンザ (鳥インフルエンザ及び 新型インフルエンザ等感染症を除く。)	小児科定点										眼科定点		基幹定点						
	インフル エンザ	小児科	眼科	S T D	基幹		RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発疹	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎 (オウム病を除く。)	インフルエンザによる入院患者	
愛知県 (保健所別)																									
愛知県 (名古屋市含む)	195	182	35	54	14	1,040	289	26	302	1,073	346	189	59	97	0	12	72	0	13	2	2	41	0	4	
総数 (名古屋市を除く)	125	112	24	39	12	839	210	16	223	772	285	150	53	73	0	6	55	0	12	1	2	39	0	4	
名古屋市(16保健所)	70	70	11	15	2	201	79	10	79	301	61	39	6	24		6	17		1	1		2			
瀬戸	9	9	2	3	1	93	15	1	24	85	29	11	18	7		1	6		2			2			
津島	7	7	2	2	1	44	5	2	18	143	21	17	1	10			8		1			10			
師勝	4	4	1	1		10			2	3	8	1		1		1	3								
一宮	16	12	3	4	1	112	28	1	19	97	32	14	4	11			4		2	1	1	8		1	
春日井	9	9	2	3	1	31	31	3	19	88	25	3	9	6		3	5								
江南	6	6	1	2		43	14	3	16	29	24	12	4	7			4		4						
半田	6	6	1	2	1	122	3		3	45	7	5	3	5								5		1	
知多	7	7	2	2		61	14		7	41	13	13	2	1			10								
岡崎市	11	7	2	4	1	25	8	1	18	33	51	23	1	3			2								
衣浦東部	13	13	2	4	1	71	34	2	24	37	26	21	6	7			2		1						
西尾	5	5	1	2	1	16	5		3	36	4	5		1			1								
豊田市	9	9	2	4	1	210	12	1	6	31	20	13	1	2			5					3		2	
豊橋市	12	8	2	4	1		19	2	22	61	17	2	4	7			4		2		1	10			
豊川	9	8	1	2	1		22		41	43	8	7		5		1	1					1			
新城	2	2			1	1			1			3													

*2011年36週からの基幹定点におけるインフルエンザ入院サーベイランス開始に伴い、「インフルエンザによる入院患者」を追加しました。また「インフルエンザ(鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症を除く。)」及び「RSウイルス感染症」の順序を変更しました。

愛知県感染症情報

2011年49週(2011年12月5日～2011年12月11日)

愛知県衛生研究所

年齢階層 (名古屋市を除く)	インフルエンザ定点	小児科定点											眼科定点		基幹定点				
	インフルエンザ (鳥インフルエンザ及び エンザ等感染症を除く。)	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎 (オウム病を除く。)	インフルエンザによる入院患者
計	839	210	16	223	772	285	150	53	73	0	6	55	0	12	1	2	39	0	4
～6ヶ月		54		1	3	8													
～12ヶ月	6	32		1	43	15	7	1	34										
0歳																			
1歳	27	67	4	3	112	28	23	2	33		1						2		
2歳	31	28	1	8	65	43	29	3	6			4					2		2
3歳	56	15	3	17	83	45	25	5			1	6					2		
4歳	69	9	2	42	83	63	29	6			1	8					2		1
5歳	107	4	2	28	56	29	15	6				15							
6歳	95		2	38	58	24	12	13			1	9							
7歳	88		1	21	38	15	5	6				5							1
8歳	57			25	20	9	2	5				3							
9歳	49	1		11	18	1	1	3			1	3							
5歳～9歳																	13		
10歳～14歳	134			22	79	3	1	3				2					10		
15歳～19歳	9			1	13						1						1		
20歳～			1	5	101	2	1							1					
20歳～29歳	25												2		1	1			
30歳～39歳	43												4						
40歳～49歳	25														1				
50歳～59歳	5												3			2			
60歳～69歳	6												3			2			
70歳～																			
70歳～79歳	4																1		
80歳以上	3																1		